

上総まちなか大学院／開講 <http://www.kofuza.com/html/act.html>

参加費無料

- ① 3.11／《過現未》キックオフ・イベント@太東埼灯台広場 ②4.11／過去から学ぶ・・・究極の安全&防災対策とは?! ③5.11／《現在》「フェーズフリーとは?」 ④6.11／《未来》「森の防波堤が守ってくれる」 ⑤7.11／《過去》「展望室&FM局付き発電風車」 ⑥8.11／《現在》「フェーズフリーと防災食」 ⑦9.11／《未来》「森の防波堤の可能性(FS)」&討論 ⑧10.11／《過去》「洋上風力発電と産業の10次化」 ⑨11.11／《現在》「身近な暮らしにフェーズフリー」

## ⑩12.11／《未来》「森の防波堤をデザインする」

講師：佐藤建吉（一般社団法人 洸楓座、代表理事）

◇日時 2021年12月11日（土）13:30～16:00

◇会場 いすみ市役所大原文化センター視聴覚室（リアル定員20名）

いすみ市大原 7838 TEL 0470-63-1222

<https://map.goo.ne.jp/place/EMRFF8HA/map/>



【講座背景】 故・宮脇昭氏が提唱し進めてきた地元の樹木（ふるさとの木々）による森づくりの概念に基づいて、宮城県や福島県、そして静岡県では、高潮や津波対策に「森の防波堤／防潮堤」が造営されています。地域住民の生命と財産を守る防潮堤づくりの活動でもあります。

「いすみ市」は、海里、川里、山里と自然の中での暮らしがありますが、自然が猛威を示すことがあります。地震や津波は長い周期で起こるのですが、その日のために命を守ってくれる樹木を育てて、高潮や津波に対策するのが「森の防波堤／防潮堤」です。海からやってくる波の威力を軽減させ、逃げる余裕の時間をつくり、人命や財産を守ってくれる。引き潮（引き波）の時には、木々が障害物として流出を抑えてくれる。「粘り強い海岸堤防」という呼び方もあります。一方で、災害のない日常は、樹木が自然の景観を添えてくれます。樹木の中を散歩しサイクリングし、観光客を迎える。日常時も、非常時も私たちの暮らしを守ってくれる「森の防波堤」を、自分たちで「いすみ市」にデザインしましょう。

### ⑪11.11／《過現未》「過現未による防災対策」まとめ

【目的】 2021年の今年、東日本大震災の10年目にあたり、これを機会に、地震・津波、台風・集中豪雨、コロナ感染症・鳥ウイルスなど《複合災害》について考える必要があります。それには、過去の出来事について復習・反省し、現在できることを行動し、さらに未来に向かって準備し対策することが必要です。「フェーズフリー」や「森の防波堤」、そして「洋上風力発電」や「展望台付き風車」など、新しい話題があります。「上総まちなか大学院」は、それらを課題として、その解決への糸口を講師とともに考え実践し、安全安心で、持続可能な「いすみ市」をみなさんとともに作りたと思います。

【主催】 一般社団法人 洸楓座／上総まちなか大学院

《フェーズフリーアクションパートナーメンバーAP9021004》

【共催】 イベント・バンキング運営組織委員会

【協賛】 いたずら丸太工房・里山風景（木村廣志）、コスモ食品（株）、  
（株）光と風の研究所、一般社団法人 Tsumugi

【後援】 いすみ市、千葉日報社、NPO 太東埼燈台クラブ

【問合せ】 kofuza@gmail.com / 090-1268-5882（佐藤建吉）  
/ <http://www.kofuza.com/html/act.html>



大原文化センターへのアクセス：JR 外房線 大原駅下車、徒歩 6 分。 アドレス：いすみ市大原 7838

